

平成 31 年 新年ご挨拶

理事長 伊藤勝陽

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。

平成は今年で最後、5月1日には125代の今上明仁陛下から皇太子徳仁親王に皇位が継承されます。生前退位は初めてのことですが、新しい年号が今から気になります。

さて今年己亥（つちのとい）の年です。己は十干の6番目、甲から己までは草木そのものの成長の時期を表すそうで、己は草木が十分に生い茂って整然としている状態、十二支の最期である亥は葉っぱも花も散って、種に生命を引き継いだ状態を表しているのだそうです。

また己（き）の音の表す意味は始（し）で「し」の音が「き」に変わったともいわれ、己は糸の先端が曲がりくねっている形を表す象形文字で紀（糸の先端の意）の原字とも記載されています。

亥に木編を補うと核で芯を意味しますが、亥の年は翌年から始まる次の種の成長に備えることを心がけると良い年と言われていています。

NPO 天かけるを例にとれば、これまでの主義や規律、秩序などを見直し、次の段階へ準備して、外に向けての活動でなく内なる充実を心がけると良い年ということになります。

最近の NPO の活動は定款に記載した事業のうち（2）医師及びコメディカル等の学術支援と、（9）地域医療 ICT 連携事業企画、運営支援 の二項目だけにとどまっていますが、（6）の予防医学における健診事業の役割と関連についての実証事業計画、運営支援 をできるだけ早い時期に実現したいと考えています。

国は健康寿命の延伸のため、特定検診などの健診情報を病院・診療所・薬局などで共有し広域連携が可能なネットワークの構築を期待していますので、行政との連携が望まれているのですが、残念ながら道半ばの状況です。

来年の更なる成長に向け猪突猛進し、今年が良い年でありますように願いつつ、新年のご挨拶を申し上げます。